

榛名神社社報

榛名神社由緒記

御祭神

はにやまひめのみこと

埴山姫命 (生命守護・五穀豊穡の神)

倭建命 (開運・土地守護の神)

菅原道真命 (学問守護・災難厄除の神)

建御名方命 (産業守護・健康長寿の神)

摂社・末社

大國主命 (商売繁盛・良縁結び・病氣平癒・交通安全の神)

琴平宮・熊野社・稻荷社・産泰社・五柱社

巖島社・加茂社 面美様

元縣社・利根沼田鎮守

沼田氏・真田氏・本多氏・黒田氏、土岐氏と代々の城主の崇敬を受け、その由縁の品々が今も保存されている。特に本殿は享禄二年(1529)沼田顕泰の建立、元和元年(1630)真田信之により改築され、豪壮華麗な桃山文化を今に伝える。

社頭講話II

大祓

日本人は古来から、一年を半分に分け、知らず知らずについてしまった罪穢れを祓い清めて、常に清らかな気持で日々の生活を送るように考えてきました。

大祓は、六月の晦日と十二月の大晦日に齋行されます。六月の大祓を夏越の祓と呼び、十二月の大祓を年越しの祓とも呼びます。夏越の祓はその名の通り、夏を越す祓で、疫病等にかかることなく、健やかな身と心で厳しい夏を乗り越えることができるように、清らかな心と身体になつて下半

発行日 平成二十二年七月十五日
発行所 沼田市榛名町二八五一
電話〇二七八(2)二六五五
http://harunanomori.com/
発行人 金子由紀子



期を過ぎることが出来るようにする、日本の知恵であり、伝統です。

茅の輪を作り、六月三十日の午後三時に、まず茅の輪をくぐり、大祓詞を参列者全員で奏上し、人形で祓います。

年越しの祓は、新年を清らかな身と心で迎えるための祓いです。茅の輪は作りませんが、大祓詞を唱え、人形で同じように祓い、船(つとつこ)に乗せて流します。

現代に生きる私たちにとっても、節目の日に罪穢れを祓って清らかな身と心に立ち返るとともに、自分を見つめなおす機会をもつことは、とても大切で必要なことなのではないでしょうか。

伊勢神宮について

伊勢神宮とは、三重県伊勢市にある皇大神宮(内宮)と豊受大神宮(外宮)、それに両社に付属する数多くの別宮・摂社・末社・所管社の総称です。正式には単に「神宮」と称し、一般には「伊勢大神宮」「お伊勢さま」などとも呼ばれています。

内宮の祭神は天照坐皇大神(天照大神)、ご神体として三種の神器の一つ八咫鏡を祭り、万幡豊秋津姫命を合祀しています。

『日本書紀』には、垂仁天皇のとき、それまで皇居の中に祭られていた八咫鏡を、その神威を畏れ、皇女倭姫命を大神につけて、鎮座にふさわしい土地を求めさせました。倭姫命は各地を巡歴した後、伊勢国の五十鈴川に至り、そこで大神の「神風の伊勢国は常世の浪の重浪帰する国なり、傍国の可憐国なり、この国に居らむと欲す」という神威を受け、宮を建てたのが内宮の起りであるといわれています。

内宮の北西約六キロの地にある外宮は、雄略天皇の夢に大神のお告げがあり、皇大神宮の神饌を供進する神として、豊受大神を丹波国(京都府)与謝郡比治の真名井原から迎え、山田原の宮に祭ったことに始まるという。外宮には御伴神の三神が合祀されています。豊受大神はもともと神饌の神、つまり食物神であるが、やがて農業神として、さらには諸産業の守護神として信仰されるようになります。

この両宮を本宮あるいは正宮と称し、他に、内宮には別宮一〇社・摂社二七・末社一六・所管社三〇、外宮には別宮四社・摂社一六・末社八・所管社四がある。これらの諸宮社は、それぞれに神宮内での役割と、それぞれの由緒があり、その分布する範囲は、三重県の南部、伊勢・松阪・鳥羽の三市、度会・多気・志摩の三郡にまたがっている。そのため、古くは、伊勢国一三郡のうち八郡が神宮の支配する神郡とされ、伊勢南部はほとんど伊勢神宮の神国の感を呈しました。

おぎよんに思う

氏子会長 吉野政雄

平成20年より総代会会長に推薦頂き、神社関係者の方々にご指導とご協力に対し、敬意を表します。氏子総代を拝命し20年(平成22年)を過ぎ今年は21回目になります。これも榛名大神の御加護のおかげです。あと1期あと1期で現在に至る。祭に入ると元気で家を出て、まつりの中へ溶け込むが身体が以前の様な動きが出来ない。年齢を感じます。祭りの期間中の天気を祈り準備にかかろう。



毎年氏子会員の皆様のご協力を頂き有難うございます。各町(12ヶ町) 参与さんを始め役員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成二十二年八月三・四・五日

◇祇園祭執行について◇

左記の通り、祇園祭についての日程等をご案内申し上げます。

一、日程

八月三日(火) 午前七時二十分 神聖奉遷・神輿奉幸祭 榛名神社
午前八時 車にて渡御 榛名神社→薄根町→清水町→榛名町→氏子区域
西倉内町→東倉内町→材木町→西原新町→東原新町 氏子区域
上原町→桜町→高橋場町→柳町 氏子区域

午後一時頃 午後三時 柳町祭典事務所着
午後三時三十分 奉仕団により渡御、柳町を出発
午後六時 仮宮着御祭 仮宮
八月四日(水) 午後五時 恒例大祭 仮宮
八月五日(木) 午後四時三十分頃 還幸祭 仮宮
午後五時 奉仕団により、還御
午後八時 須賀神社神輿との競演 市役所前広場
午後十時 宮入り・本殿着御祭 榛名神社

一、本年度当番町 清水町(来年度当番町 材木町)
一、仮宮・神明宮南側駐車場(材木町)